



# 欧州ラドン温泉療法研究会

## 2023大阪 ラドン温泉療法勉強会レポート



右上) 大阪大学豊中キャンパスの大阪大学会館にて  
左下) 大阪大学会館が画像の右手奥に見える

2023年1月29日（日）、大阪大学豊中キャンパスの大阪大学会館にて勉強会を開催しました。今回は、大阪大学名誉教授の中村仁信先生、兵庫医科大学薬学部の藤野秀樹先生とゼミの学生さんたち、東京ひぐらし整形外科内科の丸野紀子先生の講義を中心に放射線の基礎理解から臨床応用までを受講しました。ラドンからは $\alpha$ 線が放出され、極微量で無い限り生体への影響は避けられないと考えられています。従って、ラドンの特性をしっかりと理解する事で、ラドンの応用は もちろん、安全を確保するための管理法を工夫するのに役立ちます。また、兵庫医科大学の藤野先生から提供された学内でのラドン測定実習の報告は、身近に浮遊するラドンが簡単に計測される様子から、自然環境中にも多くラドンが浮遊している事実を再認識する事になりました。

## 阪大病院にてアスタチンの医師主導治験開始 (難治性甲状腺がんに対する新しい標的アルファ線治療)

この記事をスクラップする

アスタチンを使った甲状腺がん治療のイメージ

アスタチンががん細胞に集まり、アルファ線を放出してがん細胞を攻撃する(アルファ線は届く範囲が短く、正常細胞は傷つきにくい)

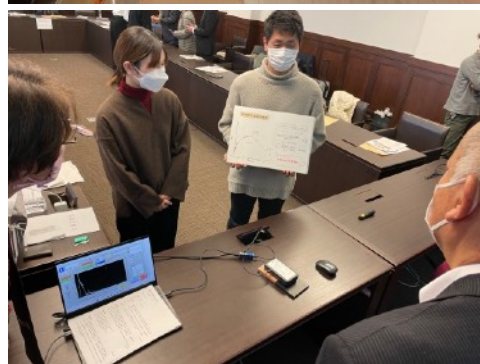
アスタチンを含む薬剤を静脈注射

甲状腺がんが他の臓器に転移した進行がんの患者に対し、放射線の一部「アルファ線」を放出する元素「アスタチン」を含んだ薬剤を投与し、がん細胞を死滅させる医師主導治験を実施すると、大阪大などのチームが29日、発表した。2024年3月までに最大16人の患者の静脈に1回注射し、安全性と有効性を調べる。

(治験責任医師: 渡部直史)

## ”がん細胞の局所をターゲットにしたα線治療の最新報告”

今回取り扱ったトピックは2つです。どちらも昨年の第59回アイソトープ・放射線研究会総会で採用された論文内容で、当研究会に関連する内容を紹介させて頂きました。1つめは大阪大学からの論文で、α線を利用したがん治療への応用です。いま治験の最終段階を迎えておりますが、その内容が論文にまとめられていました。臨床応用までの経緯に加え、放射線種による細胞への影響などを中村先生に解説頂きました。2つめの兵庫医科大学薬学部藤野研究室からの論文は、学生が中心になって立ち上げた放射線教育に関わる内容でした。これらの論文は学会の特別賞を受賞したユニークな内容です。カードゲームを用いた専門用語の解説や、ラドンを利用した計測研修法など、様々な方法で放射能や放射線を理解するための提案です。専門用語の意味や放射線計測の難しさを体験するのに役立ちました。当研究会からは、昨年欧州から発表された内容を要約し、コロナ禍によってさらに期待の高まる現地の病院の現状を報告致しました。ラドンは計測が難しい原子である一方で、その応用には幅があり、様々な分野で活用できる事を改めて認識する事ができました。



上) 兵庫医科大学薬学部学生による、カードゲームを用いた放射線や放射能教育実習の体験風景

中) 兵庫医科大学薬学部の学生による放射線率計測の仕組みを実習形式で研修

下) 東京 ひぐらし整形外科内科(オリンピックオフィシャルクリニック)の丸野先生より最新のスポーツリハビリ事情から痛みのコントロールの難しさを聴講した

## TOKYO Olympic/Paralympic 2020

